

## 景況感は、製造業は悪化幅縮小、非製造業は悪化幅拡大 先行きは、製造業、非製造業ともに悪化から好転へ

### 目次

	ページ
調査要領	1
1. 概況	2
2. 業況判断	製造業は悪化幅縮小、非製造業は悪化幅拡大 3
3. 売上	製造業は減少幅拡大、非製造業も減少幅僅かに拡大 3
4. 受注	製造業は減少幅拡大、建設業は好転 4
5. 経常利益	製造業は減少幅拡大、非製造業は前回同水準 4
6. 在庫	製品在庫は過剰感が低下、商品在庫は過剰感が上昇 4
7. 販売価格・仕入価格	販売価格は低下幅縮小、仕入価格は同水準 5
8. 資金繰り・借入金残高	借入金で製造業、非製造業ともに減少幅拡大 5
9. 雇用	製造業は不足感上昇、非製造業は不足感低下 6
10. 設備投資	製造業は前年同水準、非製造業は前年比増、目的は、補修・更新が主 6
11. 経営上の問題点	製造業、非製造業ともに「売上・受注の減少」が上位 7
12. アンケート調査結果	平成29年度の新規学卒者採用計画に関するアンケート調査結果 11

## ○調査要領

- 調査目的 鳥取県内の企業動向を調査し、県内景気の現状及び先行きを把握するため  
 調査対象 県内企業208社、回答企業87社、回答率41.8%  
 調査方法 各支店を通じるか、または郵送による記名式回答  
 調査対象期間 平成28年4～6月実績及び平成28年7～9月予想  
 調査時点 平成28年8月中旬～9月中旬

## ○業種別回答企業数

		回答企業数	構成比	うち中小企業	構成比
製 造 業	食料品	9	10.3	9	100.0
	繊維・縫製	0	0.0	—	—
	木材・木製品	2	2.3	2	100.0
	紙・紙加工品	4	4.6	4	100.0
	窯業・土石	6	6.9	6	100.0
	金属・機械	10	11.5	10	100.0
	電気機械	11	12.6	11	100.0
	印刷・その他	5	5.7	5	100.0
計		47	54.0	47	100.0
非 製 造 業	建設業	6	6.9	6	100.0
	卸売業	14	16.1	13	92.9
	小売業	11	12.6	7	63.6
	運輸業	5	5.7	5	100.0
	旅館・ホテル	4	4.6	4	100.0
計		40	46.0	35	87.5
全部門合計		87	100.0	82	94.3

注：中小企業の範囲

- 製造業・建設業・運輸業… 資本金3億円以下または従業員300人以下の企業  
 卸売業……………資本金1億円以下または従業員100人以下の企業  
 小売業……………資本金5千万円以下または従業員50人以下の企業  
 サービス業……………資本金5千万円以下または従業員100人以下の企業

### — B S I とは —

ビジネス・サーベイ・インデックスは業況や売上など項目ごとに、企業経営者の「好転」、「不変」、「悪化」の判断を集計し指標化したもので、時系列的に景気の動きを把握するもの。B S I がプラスならば全体として「良い・上昇・好転」とみなされ、逆にマイナスは「悪い・低下・悪化」と判断できる。



## 2 業況判断……製造業は悪化幅縮小、非製造業は悪化幅拡大

「自社業況の総合判断」BSI※〔(好転の割合-悪化の割合)÷2〕

28年4～6月は、前回調査比 +0.5(▲5.1→▲4.6)  
 前回(6月)調査の先行き予想比 +3.4(▲8.0→▲4.6)  
 28年7～9月の見込みは、 +8.1(▲4.6→+3.5)  
 28年10～12月の見込みは、 ▲5.9(+3.5→▲2.4)

自社の業況が前年同期に比べて好転しているか、悪化しているかについて、経営者の判断を示すもの

### 製造業のBSI

28年4～6月は、前回調査比 +1.9(▲6.2→▲4.3)  
 上昇した業種：木材・木製品、印刷・その他など  
 低下した業種：食料品、金属・機械など  
 28年7～9月の見込みは、 +8.6(▲4.3→+4.3)  
 上昇見込み：木材・木製品、紙・紙加工品など  
 低下見込み：印刷・その他

28年10～12月の見込みは、 ▲6.5(+4.3→▲2.2)  
 上昇見込み：金属・機械、電気機械  
 低下見込み：木材・木製品、紙・紙加工品など

### 非製造業のBSI

28年4～6月は、前回調査比 ▲1.1(▲3.9→▲5.0)  
 上昇した業種：小売業、建設業  
 低下した業種：旅館・ホテル、運輸業、卸売業  
 28年7～9月の見込みは、 +7.5(▲5.0→+2.5)  
 上昇見込み：建設業、卸売業、運輸業  
 低下見込み：小売業  
 28年10～12月の見込みは、 ▲5.2(+2.5→▲2.7)  
 上昇見込み：小売業、運輸業  
 低下見込み：卸売業、建設業、旅館・ホテル

図-2 業況総合判断 (製造業)

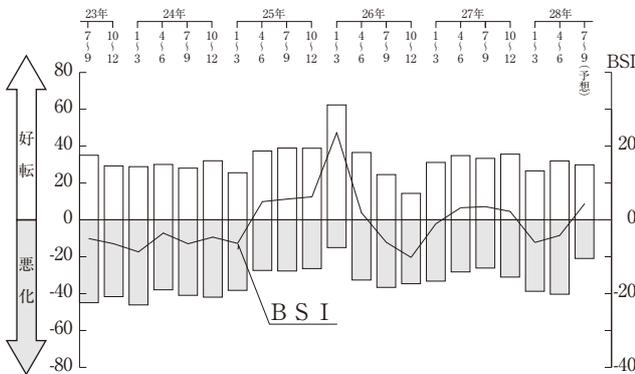
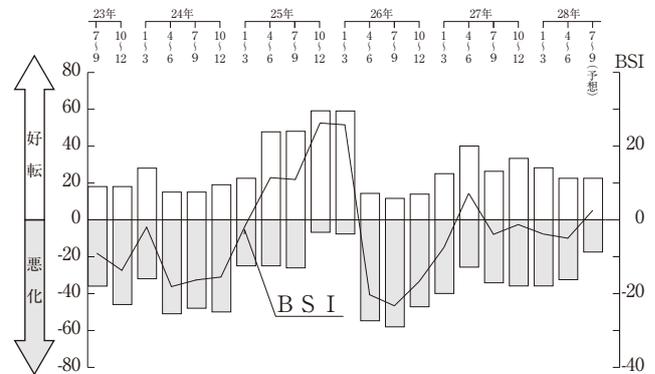


図-3 業況総合判断 (非製造業)



## 3 売上……製造業は減少幅拡大、非製造業も減少幅僅かに拡大

### 製造業の売上高BSI

28年4～6月は、前回調査比 ▲9.1(▲4.6→▲13.7)  
 上昇した業種：電気機械  
 低下した業種：食料品、窯業・土石、金属・機械  
 28年7～9月の見込みは、 +13.7(▲13.7→±0)  
 上昇見込み：木材・木製品、窯業・土石など  
 低下見込み：紙・紙加工品、印刷・その他

### 非製造業の売上高BSI

28年4～6月は、前回調査比 ▲0.3(▲7.7→▲8.0)  
 上昇した業種：卸売業、建設業  
 低下した業種：旅館・ホテル、運輸業など  
 28年7～9月の見込みは、 +4.0(▲8.0→▲4.0)  
 上昇見込み：小売業、建設業  
 低下見込み：卸売業

### 売上高にかかる回答の集計(回答企業の加重平均)

#### 全産業(回答58社)

28年4～6月実績は、前年同期比 ▲16.1%  
 28年7～9月予想は、同 ▲3.6%

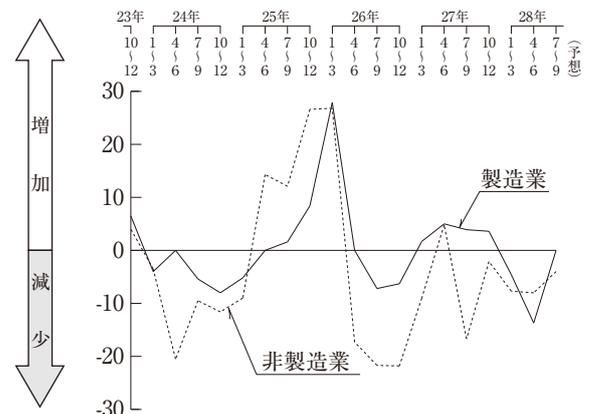
#### 製造業(33社)

28年4～6月実績は、前年同期比 ▲18.7%  
 上昇した業種：該当なし  
 低下した業種：金属製品、食料品、窯業・土石など  
 28年7～9月予想は、前年同期比 ▲3.9%  
 上昇見込みの業種：一般機械、木材・木製品・家具など  
 低下見込みの業種：紙・紙加工品、食料品など

### 非製造業(25社)

28年4～6月実績は、前年同期比 ▲12.8%  
 上昇した業種：卸売業  
 低下した業種：小売業、建設業、旅館・ホテル  
 28年7～9月予想は、前年同期比 ▲12.7%  
 上昇見込みの業種：建設業  
 低下見込みの業種：小売業、旅館・ホテル

図-4 売上高のBSI



## 4 受注……製造業は減少幅拡大、建設業は好転

### 製造業の受注高BSI

28年4～6月は、前回調査比 ▲2.3(▲3.2→▲5.5)

上昇した業種：木材・木製品、電気機械など

低下した業種：食料品、金属・機械、紙・紙加工品

28年7～9月の見込みは、 +4.4(▲5.5→▲1.1)

上昇見込み：食料品、金属・機械、電気機械

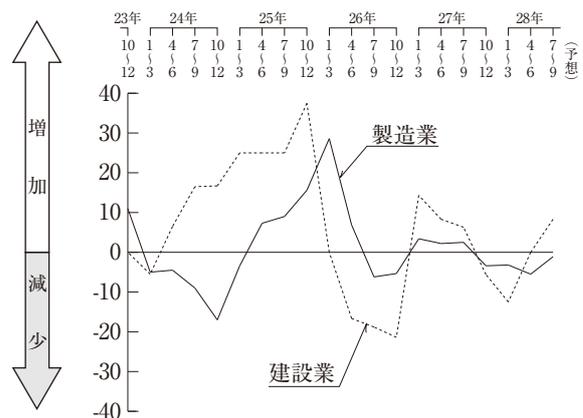
低下見込み：印刷・その他

### 建設業の受注高BSI

28年4～6月は、前回調査比 +12.5(▲12.5→±0)

28年7～9月の見込みは、 +8.3(±0→+8.3)

図-5 受注額のBSI



## 5 経常利益……製造業は減少幅拡大、非製造業は前同水準

### 製造業の経常利益BSI

28年4～6月は、前回調査比 ▲4.3(▲2.1→▲6.4)

上昇した業種：印刷・その他、電気機械

低下した業種：食料品、木材・木製品など

28年7～9月の見込みは、 +6.4(▲6.4→±0)

上昇見込み：木材・木製品、食料品など

低下見込み：印刷・その他

### 非製造業の経常利益BSI

28年4～6月は、前回調査比 ±0(▲1.3→▲1.3)

上昇した業種：小売業

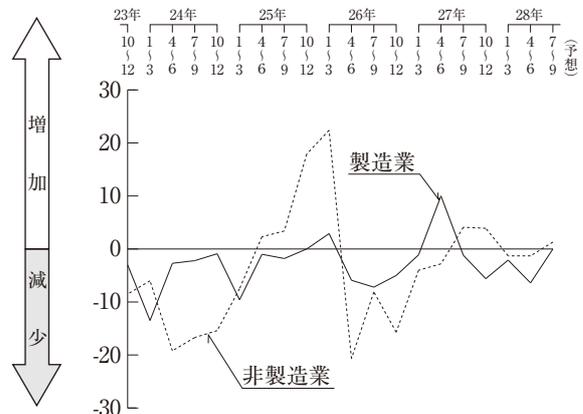
低下した業種：旅館・ホテル、運輸業など

28年7～9月の見込みは、 +2.6(▲1.3→+1.3)

上昇見込み：建設業、卸売業

低下見込み：該当なし

図-6 経常利益のBSI



## 6 在庫……製品在庫は過剰感が低下、商品在庫は過剰感が上昇

### 製品在庫BSI〔(不足-過剰)÷2〕

28年4～6月は、前回調査比 +2.1(▲3.2→▲1.1)

過剰感が低下した業種：電気機械、金属・機械

過剰感が上昇した業種：紙・紙加工品、窯業・土石

不足感が低下した業種：該当なし

不足感が上昇した業種：食料品

28年7～9月の見込みは、 +2.2(▲1.1→+1.1)

過剰感低下見込み業種：窯業・土石

過剰感上昇見込み業種：該当なし

不足感低下見込み業種：該当なし

不足感上昇見込み業種：機械・金属、食料品

### 商品在庫BSI

28年4～6月は、前回調査比 ▲3.4(▲4.6→▲8.0)

過剰感が上昇した業種：卸売業

過剰感が低下した業種：小売業

不足感が低下した業種：該当なし

不足感が上昇した業種の該当なし

28年7～9月の見込みは、 +6.0(▲8.0→▲2.0)

過剰感低下見込み業種：小売業、卸売業

過剰感上昇見込み業種：該当なし

不足感低下見込み業種：該当なし

不足感上昇見込み業種：該当なし

### 製造業の原材料在庫BSI

28年4～6月は前回調査比 +4.2(▲3.1→+1.1)

過剰感が低下した業種：電気機械

過剰感が上昇した業種：紙・紙加工品

不足感が低下した業種：該当なし

不足感が上昇した業種：食料品

28年7～9月の見込みは +2.2(+1.1→+3.3)

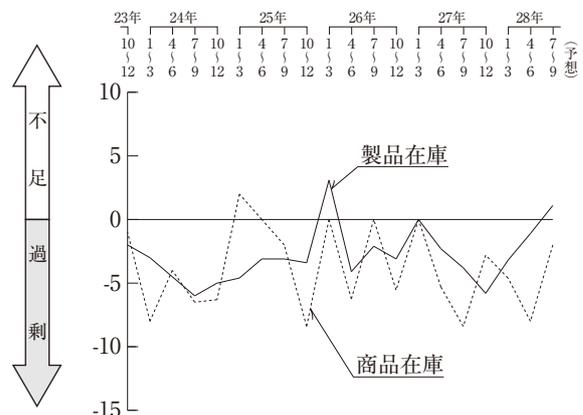
過剰感低下見込み業種：電気機械

過剰感上昇見込み業種：該当なし

不足感低下見込み業種：該当なし

不足感上昇見込み業種：木材・木製品

図-7 製品・商品在庫のBSI



## 7 販売価格・仕入価格……販売価格は低下幅縮小、仕入価格は同水準

### 販売価格BSI「(上昇-低下)÷2」

28年4～6月は、前回調査比 +2.9(▲3.5→▲0.6)  
28年7～9月の見込みは、▲1.2(▲0.6→▲1.8)

### 製造業の販売価格BSI

28年4～6月は、前回調査比 +3.0(▲5.1→▲2.1)  
上昇した業種：電気機械、窯業・土石など  
低下した業種：食料品、紙・紙加工品  
28年7～9月の見込みは、▲2.2(▲2.1→▲4.3)  
上昇見込み：該当なし  
低下見込み：金属・機械、電気機械

### 非製造業の販売価格BSI

28年4～6月は、前回調査比 +2.8(▲1.4→+1.4)  
上昇した業種：建設業、運輸業など  
低下した業種：小売業  
28年7～9月の見込みは、±0.0(1.4→1.4)  
上昇見込み：該当なし  
低下見込み：該当なし

### 仕入価格BSI「(上昇-低下)÷2」

28年4～6月は、前回調査比 ±0.0(▲0.6→▲0.6)  
28年7～9月の見込みは、±0.0(▲0.6→▲0.6)

### 製造業の仕入価格BSI

28年4～6月は、前回調査比 ▲4.3(±0.0→▲4.3)  
上昇した業種：金属・機械、印刷・その他  
低下した業種：食料品、紙・紙加工品  
28年7～9月の見込みは、▲2.1(▲4.3→▲6.4)  
上昇見込み：該当なし  
低下見込み：食料品、金属・機械

### 非製造業の仕入価格BSI

28年4～6月は、前回調査比 +5.3(▲1.3→+4.0)  
上昇した業種：建設業、運輸業  
低下した業種：卸売業、小売業、旅館・ホテル  
28年7～9月の見込みは、+2.6(+4.0→+6.6)  
上昇見込み：小売業、運輸業  
低下見込み：該当なし

図-8 販売価格のBSI

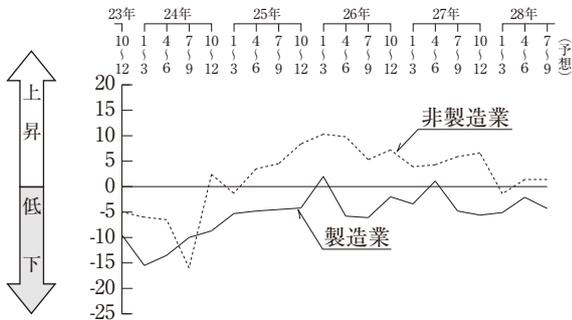
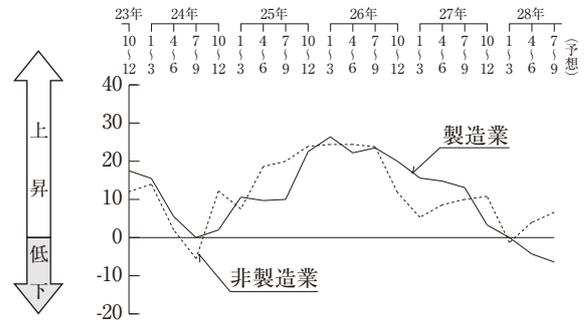


図-9 仕入価格のBSI



## 8 資金繰り・借入金残高……借入金で製造業、非製造業ともに減少幅拡大

### 資金繰りBSI「(楽-苦しい)÷2」

28年4～6月は、前回調査比 ▲1.7(+4.0→+2.3)  
28年7～9月の見込みは、▲2.3(+2.3→+0.0)

### 製造業の資金繰りBSI

28年4～6月は、前回調査比 ▲1.0(+2.1→+1.1)  
楽になった業種：金属・機械、紙・紙加工品  
苦しくなった業種：窯業・土石、食料品など  
28年7～9月の見込みは、±0.0(+1.1→+1.1)  
楽になる見込み：木材・木製品、窯業・土石  
苦しくなる見込み：金属・機械、電気機械

### 非製造業の資金繰りBSI

28年4～6月は、前回調査比 ▲2.6(+6.4→+3.8)  
楽になった業種：運輸業  
苦しくなった業種：建設業、小売業  
28年7～9月の見込みは、▲5.1(+3.8→▲1.3)  
楽になる見込み：該当なし  
苦しくなる見込み：建設業、卸売業など

### 借入金残高のBSI「(減少-増加)÷2」

28年4～6月は、前回調査比 +6.8(+6.3→+13.1)  
28年7～9月の見込みは、▲5.3(+13.1→+7.8)

### 製造業の借入金残高BSI

28年4～6月は、前回調査比 +7.4(+8.2→+15.6)  
減少した業種：食料品、紙・紙加工品など  
増加した業種：窯業・土石、電気機械  
28年7～9月の見込みは、▲6.7(+15.6→+8.9)  
減少する見込み：該当なし  
増加する見込み：食料品、木材・木製品など

### 非製造業の借入金残高BSI

28年4～6月は、前回調査比 +6.4(+3.9→+10.3)  
減少した業種：卸売業、小売業など  
増加した業種：建設業、旅館・ホテル  
28年7～9月の見込みは、▲3.9(+10.3→+6.4)  
減少する見込み：該当なし  
増加する見込み：卸売業、旅館・ホテル

図-10 資金繰りのBSI

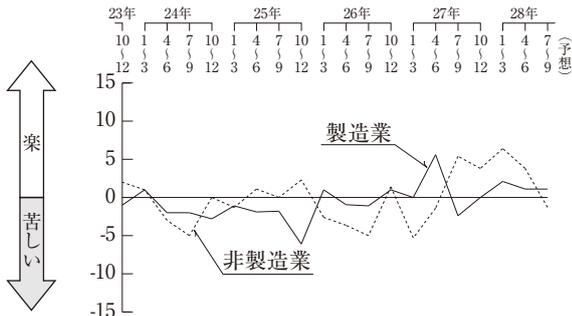
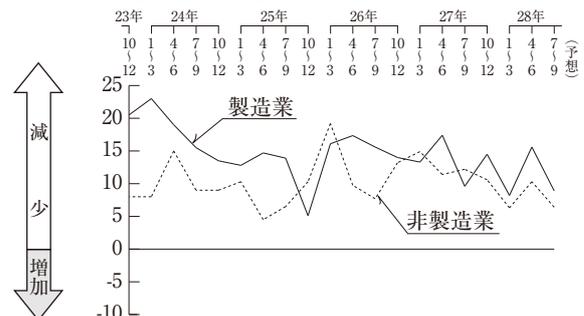


図-11 借入金残高のBSI



## 9 雇 用……製造業は不足感上昇、非製造業は不足感低下

製造業の常用雇用者BSI〔(過剰-不足)÷2〕

28年4～6月は、前回調査比 ▲5.5(▲7.3→▲12.8)

過剰感が増加した業種：該当なし

過剰感が減少した業種：木材・木製品

不足感が増加した業種：窯業・土石など

不足感が減少した業種：電気機械

28年7～9月の見込みは、 ±0.0(▲12.8→▲12.8)

過剰感増加見込み業種：該当なし

過剰感減少見込み業種：木材・木製品

不足感増加見込み業種：該当なし

不足感減少見込み業種：金属・機械

非製造業の常用雇用者BSI

28年4～6月は、前回調査比 +0.4(▲15.4→▲15.0)

不足感が増加した業種：小売業、運輸業

不足感が減少した業種：建設業、卸売業など

過剰感が増加した業種、過剰感が減少した業種の

該当なし

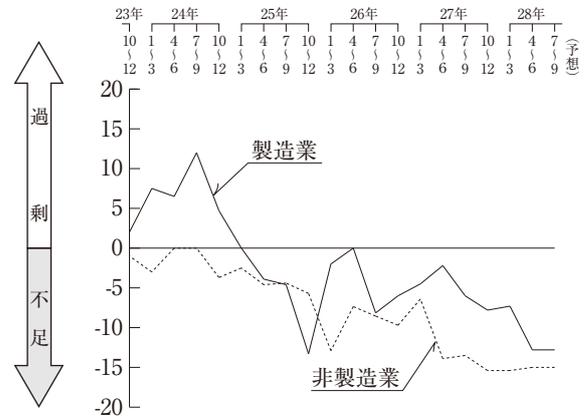
28年7～9月の見込みは、 ±0.0(▲15.0→▲15.0)

不足感増加見込み業種：建設業

不足感減少見込み業種：卸売業

過剰感増加見込み業種、過剰感減少見込み業種の  
該当なし

図-12 雇用(常用雇用者)のBSI



## 10 設備投資……製造業は前年同水準、非製造業は前年比増、目的は、補修・更新が主

28年4～6月：回答企業の43%が設備投資を実施。

前年同期実績(40%)より3ポイント上回った。

28年7～9月：回答企業の46%が設備投資を計画。

前年同期実績(40%)より6ポイント上回る見込み。

業種別設備投資企業割合

( )内は前年同期実績:単位%

	28年1～3月 実績	28年4～6月 実績	28年7～9月 計画
全 産 業	48 (34)	43 (40)	46 (40)
食 料 品	75 (29)	71 (71)	75 (71)
織 維 ・ 縫 製	— (0)	—	—
木 材 ・ 木 製 品	0 (67)	0 (25)	0 (0)
紙 ・ 紙 加 工 品	75 (25)	50 (33)	25 (33)
窯 業 ・ 土 石	50 (0)	33 (0)	17 (0)
金 属 ・ 機 械	67 (63)	30 (45)	50 (55)
電 気 機 械	70 (44)	55 (60)	73 (80)
印 刷 ・ そ の 他	20 (20)	40 (40)	25 (20)
製 造 業	60 (34)	44 (44)	49 (47)
建 設 業	25 (29)	17 (67)	33 (0)
卸 売 業	8 (14)	38 (13)	31 (20)
小 売 業	50 (75)	45 (43)	45 (43)
運 輸 業	60 (40)	60 (40)	80 (80)
旅 館 ・ ホ テ ル	100 (25)	50 (33)	50 (33)
非 製 造 業	32 (34)	41 (33)	44 (31)

製 造 業	28年4～6月	実施割合 前年同期実績比 3ポイント減少(44%→41%) 上昇する業種:窯業・土石、紙・紙加工品 低下する業種:木材・木製品、金属・機械など
	投資目的	1 補修・更新 81% (前年同期 67%) 2 合理化・省力化 43% (同 25%) 3 増産・能力増強 14% (同 21%)
製 造 業	28年7～9月	計画割合 前年同期実績比 14ポイント増加(33%→47%) 上昇する業種:窯業・土石、食品、印刷・その他 低下する業種:建設業、紙・紙加工品など
	投資目的	1 補修・更新 58% (前年同期 67%) 2 合理化・省力化 46% (同 43%) 3 増産・能力増強 25% (同 43%)
非 製 造 業	28年4～6月	実施割合 前年同期実績比 13ポイント増加(33%→46%) 上昇する業種:卸売業、運輸業など 低下する業種:該当なし
	投資目的	1 補修・更新 87% (前年同期 50%) 2 合理化・省力化 27% (同 13%) 3 販売力の増強 20% (同 38%)
非 製 造 業	28年7～9月	計画割合 前年同期実績比 15ポイント増加(31%→46%) 上昇する業種:旅館・ホテル、卸売業など 低下する業種:該当なし
	投資目的	1 補修・更新 87% (前年同期 82%) 2 販売力の増強 27% (同 27%) 2 合理化・省力化 20% (同 9%)

注：投資目的は複数回答、構成比。建設業は製造業に含む。

図-13 設備投資実施企業の割合の推移

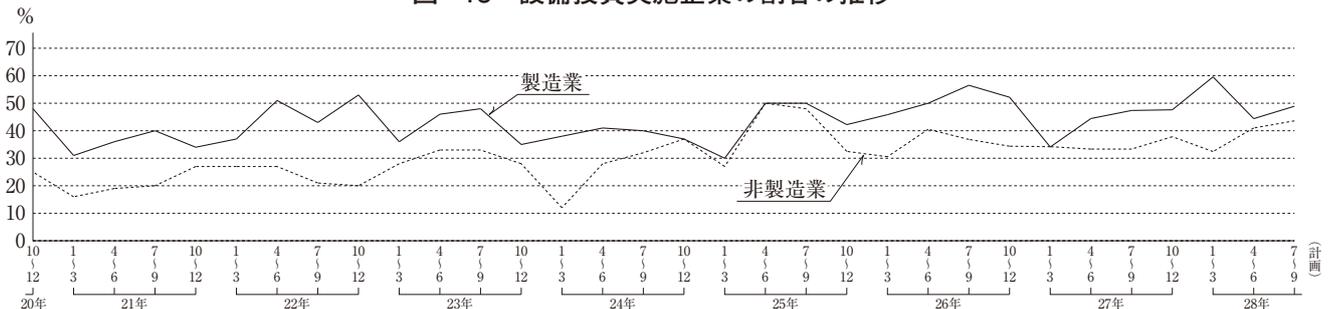
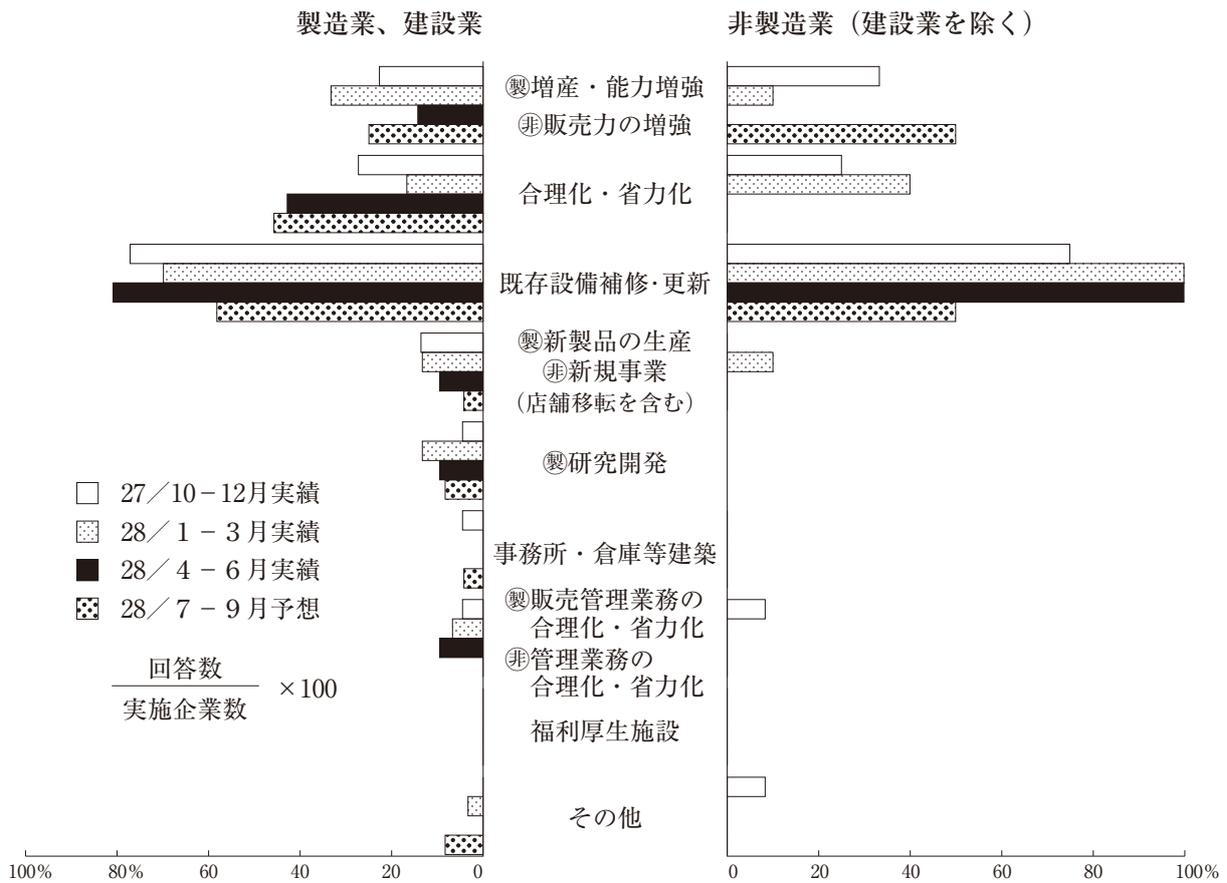


図-14 産業別設備投資の目的（複数回答、構成比）



## 11 経営上の問題点……製造業、非製造業ともに「売上・受注の減少」が上位

平成28年4～6月：経営上の問題点(大きいものから2項目選択)の上位5項目(全産業)は前回調査時と同様になった。

一番多かったのは「売上・受注の減少」で48ポイント(製造業では55ポイントの1位、非製造業は40ポイントの1位)。

平成28年7～9月：上位5項目(全産業)は、4～6月と同様になった。

一番多かったのは「売上・受注の減少」▲2ポイント(製造業：▲8ポイント、非製造業：+5ポイント)。

経営上の問題点(上位項目)

(単位：%)

	問題点	28年		
		1～3月	4～6月	7～9月 予想
全産業	1 売上・受注の減少	48	48	46
	2 先行き見通し難	33	28	33
	3 労働力不足	16	25	29
	4 過当競争	19	22	20
	5 仕入価格の上昇	15	15	14
製造業	1 売上・受注の減少	45	55	47
	2 先行き見通し難	39	34	43
	3 労働力不足	12	23	28
	4 過当競争	18	19	19
	5 販売価格の低下	10	13	17
非製造業	1 売上・受注の減少	51	40	45
	2 労働力不足	21	28	30
	3 過当競争	21	25	20
	4 先行き見通し難	26	20	23
	4 仕入価格の上昇	18	20	18

注：上位2項目の複数回答、回答数=企業数(回答なしを含む)

図-15 経営上の問題点(上位項目)

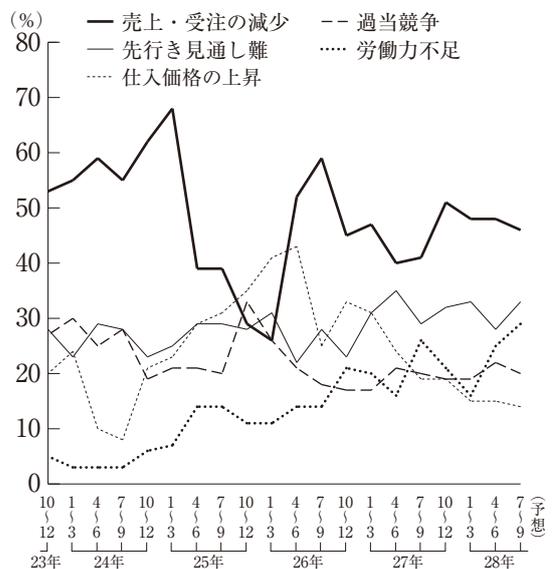


表-1 業種別 業況判断 B S I

業種	期 判断	28年1~3月実績				28年4~6月実績				28年7~9月予想			
		A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$
全産業		27	35	38	▲ 5.1	28	36	37	▲ 4.6	26	54	20	3.5
食料品		56	44	0	27.8	44	33	22	11.1	44	45	11	16.7
繊維・縫製		0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
木材・木製品		0	0	100	▲50.0	50	0	50	0.0	50	50	0	25.0
紙・紙加工品		0	75	25	▲12.5	0	50	50	▲25.0	0	100	0	0.0
窯業・土石		33	0	67	▲16.7	17	33	50	▲16.7	17	50	33	▲ 8.3
金属・機械		15	31	54	▲19.2	0	29	71	▲35.7	0	57	43	▲21.5
電気機械		30	30	40	▲ 5.0	43	14	43	0.0	43	29	29	7.0
印刷・その他		20	60	20	0.0	60	40	0	30.0	40	60	0	20.0
製造業		27	35	39	▲ 6.2	32	28	40	▲ 4.3	30	49	21	4.3
建設業		13	50	38	▲12.5	33	17	50	▲ 8.4	33	67	0	16.7
卸売業		29	36	36	▲ 3.6	14	57	29	▲ 7.2	29	57	14	7.2
小売業		27	27	46	▲ 9.1	18	55	27	▲ 4.6	0	73	27	▲13.7
運輸業		40	40	20	10.0	20	40	40	▲10.0	20	60	20	0.0
旅館・ホテル		100	0	0	50.0	50	25	25	12.5	50	25	25	12.5
非製造業		28	36	36	▲ 3.9	23	45	33	▲ 5.0	23	60	18	2.5

表-2 業種別 売上高 B S I

業種	期 判断	28年1~3月実績				28年4~6月実績				28年7~9月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 増加	B 不変	C 減少	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 増加	B 不変	C 減少	B S I $\frac{A-C}{2}$
全産業		27	34	39	▲ 6.0	19	40	41	▲11.2	19	59	22	▲ 1.7
食料品		57	43	0	28.6	0	50	50	▲25.0	0	75	25	▲12.5
繊維・縫製		0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
木材・木製品		0	0	100	▲50.0	0	0	100	▲50.0	50	0	50	25.0
紙・紙加工品		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	0	100	▲50.0
窯業・土石		25	25	50	▲12.5	0	50	50	▲25.0	0	100	0	0.0
金属・機械		25	13	63	▲18.8	13	13	75	▲31.2	25	63	13	6.2
電気機械		22	33	44	▲11.1	40	20	40	0.0	40	30	30	5.0
印刷・その他		33	33	33	0.0	25	50	25	0.0	0	75	25	▲12.5
製造業		30	30	39	▲ 4.6	21	30	49	▲13.7	21	58	21	0.0
建設業		25	50	25	0.0	20	40	40	5.0	40	40	20	10.0
卸売業		27	27	46	▲ 9.1	30	60	10	10.0	10	80	10	0.0
小売業		11	45	44	▲16.7	0	50	50	▲25.0	13	50	38	▲12.5
運輸業		50	50	0	25.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
旅館・ホテル		0	0	0	0.0	0	0	100	▲50.0	0	0	100	▲50.0
非製造業		23	38	39	▲ 7.7	16	52	32	▲ 8.0	16	60	24	▲ 4.0

表-3 業種別 経常利益 B S I

業種	期 判断	28年1~3月実績				28年4~6月実績				28年7~9月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 増加	B 不変	C 減少	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 増加	B 不変	C 減少	B S I $\frac{A-C}{2}$
全 産 業		33	31	36	▲ 1.7	30	31	38	▲ 4.1	30	41	29	0.5
食 料 品		67	22	11	27.8	33	22	44	▲ 5.6	33	45	22	5.6
繊維・縫製		0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
木材・木製品		0	100	0	0.0	0	50	50	▲25.0	50	50	0	25.0
紙・紙加工品		0	75	25	▲12.5	0	2	2	▲25.0	0	50	50	▲25.0
窯業・土石		17	33	50	▲16.7	17	33	50	▲16.7	17	50	33	▲ 8.3
金属・機械		31	15	54	▲11.5	30	10	60	▲15.0	20	40	40	▲10.0
電気機械		40	20	40	0.0	46	18	36	4.6	36	45	18	9.1
印刷・その他		20	40	40	▲10.0	60	20	20	20.0	40	40	20	10.0
製 造 業		33	29	38	▲ 2.1	32	23	45	▲ 6.4	28	45	28	0.0
建 設 業		38	38	25	6.3	33	33	33	0.0	50	17	33	8.4
卸 売 業		29	43	29	0.0	21	50	29	▲ 3.6	29	43	29	0.0
小 売 業		18	36	46	▲13.7	27	45	27	0.0	27	45	27	0.0
運 輸 業		50	0	50	0.0	25	25	50	▲12.5	25	25	50	▲12.5
旅館・ホテル		100	0	0	50.0	50	25	25	12.5	50	25	25	12.5
非 製 造 業		32	34	34	▲ 1.3	28	41	31	▲ 1.3	33	36	31	1.3

表-4 業種別 販売価格 B S I

業種	期 判断	28年1~3月実績				28年4~6月実績				28年7~9月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I $\frac{A-C}{2}$
全 産 業		10	73	17	▲ 3.5	9	80	11	▲ 0.6	9	78	13	▲ 1.8
食 料 品		33	67	0	16.7	11	89	0	5.6	22	67	11	5.6
繊維・縫製		0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
木材・木製品		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
紙・紙加工品		25	50	25	0.0	0	75	25	▲12.5	0	75	25	▲12.5
窯業・土石		0	50	50	▲25.0	0	67	33	▲16.7	0	67	33	▲16.7
金属・機械		0	69	31	▲15.4	10	70	20	▲ 5.0	0	80	20	▲10.0
電気機械		10	80	10	0.0	9	91	0	4.6	9	82	9	0.0
印刷・その他		0	80	20	▲10.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
製 造 業		10	69	20	▲ 5.1	6	83	11	▲ 2.1	6	79	15	▲ 4.3
建 設 業		14	57	29	▲ 7.2	25	75	0	12.5	25	75	0	12.5
卸 売 業		7	79	14	▲ 3.6	7	86	7	0.0	7	86	7	0.0
小 売 業		9	82	9	0.0	9	64	27	▲ 9.1	9	64	27	▲ 9.1
運 輸 業		20	80	0	10.0	40	60	0	20.0	40	60	0	20.0
旅館・ホテル		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
非 製 造 業		11	76	13	▲ 1.4	13	76	11	1.4	13	76	11	1.4

表-5 業種別 仕入価格 B S I

業種	期 判断	28年1~3月実績				28年4~6月予想				28年7~9月予想			
		A	B	C	B S I	A	B	C	B S I	A	B	C	B S I
		上昇	不変	低下	$\frac{A-C}{2}$	上昇	不変	低下	$\frac{A-C}{2}$	上昇	不変	低下	$\frac{A-C}{2}$
全産業		14	71	15	▲ 0.6	13	73	14	▲ 0.6	14	71	15	▲ 0.6
製造業	食料品	44	56	0	22.2	33	67	0	16.7	33	56	11	11.1
	繊維・縫製	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
	木材・木製品	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
	紙・紙加工品	25	75	0	12.5	0	50	50	▲25.0	0	50	50	▲25.0
	窯業・土石	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
	金属・機械	0	69	31	▲15.4	10	60	30	▲10.0	0	70	30	▲15.0
	電気機械	10	80	10	0.0	0	73	27	▲13.7	0	73	27	▲13.7
	印刷・その他	0	80	20	▲10.0	20	60	20	0.0	20	60	20	0.0
製造業		12	76	12	0.0	11	70	19	▲ 4.3	9	70	21	▲ 6.4
非製造業	建設業	0	86	14	▲ 7.2	25	75	0	12.5	25	75	0	12.5
	卸売業	21	72	7	7.2	14	79	7	3.6	14	79	7	3.6
	小売業	18	73	9	4.6	9	82	9	0.0	18	73	9	4.6
	運輸業	0	20	80	▲40.0	0	80	20	▲10.0	20	60	20	0.0
	旅館・ホテル	100	0	0	50.0	50	50	0	25.0	50	50	0	25.0
非製造業		16	66	18	▲ 1.3	16	76	8	4.0	21	71	8	6.6

表-6 経営上の問題点 (上位項目)

(単位：%)

	問題点	24年				25年				26年				27年				28年		
		I	II	III	IV	I	II	III予想												
製造業	1 売上・受注の減少	60	50	48	55	62	35	35	35	26	44	51	39	40	35	31	42	45	55	47
	2 先行き見通し難	19	36	31	32	36	38	36	37	34	25	29	29	34	37	31	38	39	34	43
	3 労働力不足	0	2	4	6	6	12	13	12	6	10	10	16	18	15	21	16	12	23	28
	4 過当競争	23	18	23	13	15	19	18	24	22	15	12	14	10	17	26	11	18	19	19
	5 販売価格の低下	29	23	19	17	19	15	16	16	20	15	14	14	10	11	14	18	10	13	17
	6 仕入価格の上昇	23	11	10	21	23	27	29	31	48	40	33	39	28	20	21	16	12	11	11
	7 諸経費の増加	13	18	19	17	19	10	9	12	12	21	10	18	14	13	12	7	12	9	2
	7 資金繰り難	4	7	8	6	6	6	5	4	4	6	0	6	4	7	7	4	6	9	6
	7 為替相場の変動	6	7	4	6	6	13	13	8	10	4	12	10	6	9	10	7	6	9	15
	10 人件費の増加	8	9	2	4	4	6	5	10	6	8	12	6	4	15	5	9	6	0	2
非製造業	1 売上・受注の減少	50	70	63	71	75	43	43	23	26	62	67	51	56	47	53	62	51	40	45
	2 労働力不足	0	4	3	7	8	16	15	9	18	19	19	26	22	17	32	28	21	28	30
	3 過当競争	23	34	35	26	28	23	22	43	32	29	26	21	28	25	13	28	21	25	20
	4 先行き見通し難	31	21	25	12	13	18	20	18	26	19	28	16	28	33	26	26	26	20	23
	4 仕入価格の上昇	19	9	5	21	23	32	33	41	32	45	16	26	36	31	16	23	18	20	18
	6 資金繰り難	6	11	15	10	10	16	15	9	13	2	7	5	11	8	11	5	8	10	13
	6 人件費の増加	10	9	5	10	10	14	13	7	8	2	9	5	6	6	11	3	5	10	13
	8 販売価格の低下	27	21	20	19	20	14	15	11	11	10	2	5	8	8	8	5	13	5	5
	9 諸経費の増加	13	9	10	5	5	11	11	16	13	10	14	9	8	8	11	3	3	0	3

注：上位2項目の複数回答、回答数÷企業数（回答なしを含む）

# 平成29年度の新規学卒者採用計画に関するアンケート調査結果

## 【調査結果要旨】

～平成29年度の採用計画は、不足はないがよい人材があれば採用する方針が中心～

- 各事業所における従業員の過不足感は、製造業では「不足感」が拡大し、非製造業では「不足感」が微減。
- 直近4年間の新規学卒者の採用状況の推移をみると、「定期的に採用」と「断続的に採用」を合算した企業の割合と、採用を見合わせる企業の割合が拮抗している。
- 採用の方針は、「不足はないがよい人材があれば採用する」、「人員が不足しており採用したい」が上位となった。

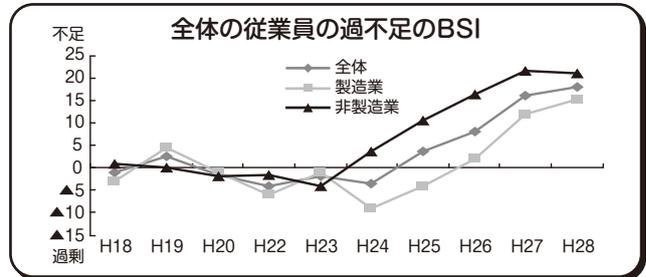
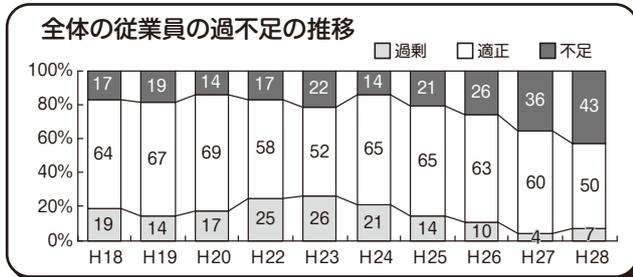
## 【調査概要】

- 調査方法 郵送・持参によるアンケート方式  
 調査対象 鳥取県内企業209社(有効回答84社(製造業46社、非製造業38社)、有効回答率40.2%)  
 調査時期 平成28年8月中旬から9月上旬(毎年実施、平成21年度は未実施)  
 調査内容 「平成29年度の新規学卒者採用計画」
1. 従業員の過不足
  2. 職種別の過不足
  3. 新規学卒者の採用状況
  4. 平成29年度の新規学卒者の採用方針

## 1. 従業員の過不足感 【製造業で「不足感」が拡大、非製造業は微減】

調査時点の各事業所が感じる従業員の過不足は、回答企業全体(以下全体)で「適正」が50%(前年調査60%)、「過剰」が7%(同4%)、「不足」が43%(同36%)となった。前年調査と比較すると、「適正」は10ポイント低下し、「過剰」が3ポイント上昇、「不足」は7ポイント上昇した。

業種別で従業員の過不足のBSI(「不足」企業割合-「過剰」企業割合)÷2をみると、製造業は+15.2(前年調査+12.0)、非製造業は+21.1(同+21.4)と製造業で「不足感」が拡大した。全体では+17.9(同+16.0)と「不足」となった。



## 2. 職種別の過不足 【過剰職種は事務職。不足職種は技術職、現業職、営業職】

調査時点の過剰感の高い職種は、全体で「事務職」7%(前年調査4%)となった。業種別でみると製造業は「事務職」7%(同2%)、「現業職」2%(同4%)が高く、非製造業は「事務職」8%(同6%)が高かった。

一方、不足感の高い職種は、全体で「技術職」23%(同15%)、「現業職」20%(同12%)、「営業職」13%(同15%)が高かった。業種別でみると、製造業は「技術職」28%(同17%)が高く、非製造業は「営業職」22%(同22%)が高かった。

### 過剰感のある職種(3項目まで回答可)

回答数に対する割合(%)

	専門職	管理職	技能職	販売職	技術職	営業職	事務職	現業職
全体	0 (0)	1 (1)	0 (2)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	7 (4)	2 (2)
製造業	0 (0)	0 (0)	0 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	7 (2)	2 (4)
非製造業	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	8 (6)	0 (0)

### 不足感のある職種(3項目まで回答可)

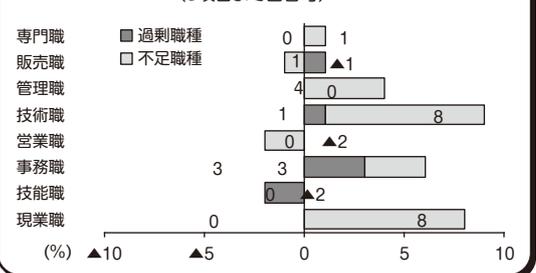
回答数に対する割合(%)

	専門職	管理職	技能職	販売職	技術職	営業職	事務職	現業職
全体	7 (6)	10 (6)	9 (9)	6 (7)	23 (15)	13 (15)	5 (2)	20 (12)
製造業	9 (4)	9 (9)	9 (9)	0 (2)	28 (17)	7 (9)	4 (4)	22 (22)
非製造業	6 (8)	11 (3)	8 (8)	14 (14)	17 (11)	22 (22)	6 (0)	17 (0)

( )内は前回調査値

### 全体の職種別の過不足(前年との差異)

(3項目まで回答可)



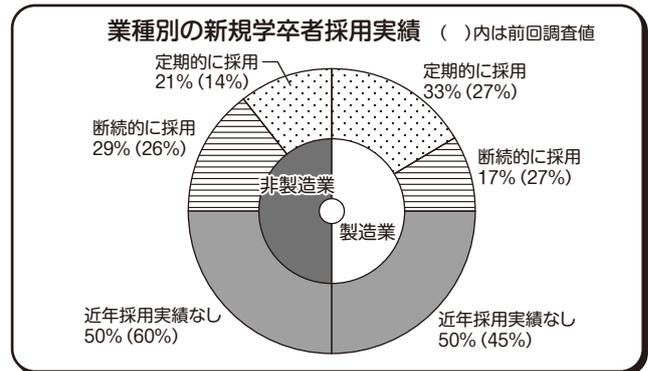
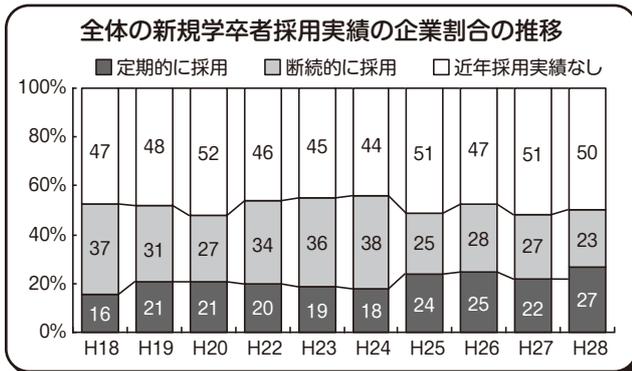
### 3. 新規学卒者の採用状況【製造業はプラス維持、非製造業はプラスに転じる】

新規学卒者採用実績の企業割合は、全体で「定期的に採用」27%（前年調査22%）、「断続的に採用」23%（同27%）、「近年採用実績なし」50%（同51%）となった。

前年と比較して、「定期的に採用」が5ポイント上昇し、「断続的に採用」が4ポイント、「近年採用実績なし」が1ポイント低下した。平成25年からの推移をみると、「定期的に採用」と「断続的に採用」を合算した企業の割合と、採用を見合わせる企業の割合が50%前後で拮抗していることが窺える。

業種別でみると、製造業では「定期的に採用」（本年33%、前年27%）が5ポイント上昇し、「断続的に採用」（同17%、同27%）が10ポイント低下、「近年採用実績なし」（同50%、同45%）が5ポイント上昇した。

非製造業では、「定期的に採用」（同21%、同14%）が7ポイント上昇し、「断続的に採用」（同29%、同26%）が3ポイント上昇、「近年採用実績なし」（同50%、同60%）が10ポイント低下した。



### 4. 平成29年度の新規学卒者の採用方針【「不足はないがよい人材があれば採用する」が首位】

来春の新規学卒者の採用方針（複数回答）をみると、全体では「不足はないがよい人材があれば採用する」が20%（前年調査24%）と最も多い回答だった。次いで、「人員が不足しており採用したい」が19%（同27%）、「定年等の退職者の増加が見込まれるので、採用したい」が17%（同28%）、「充足しているので採用しない」が11%（同9%）と続いた。

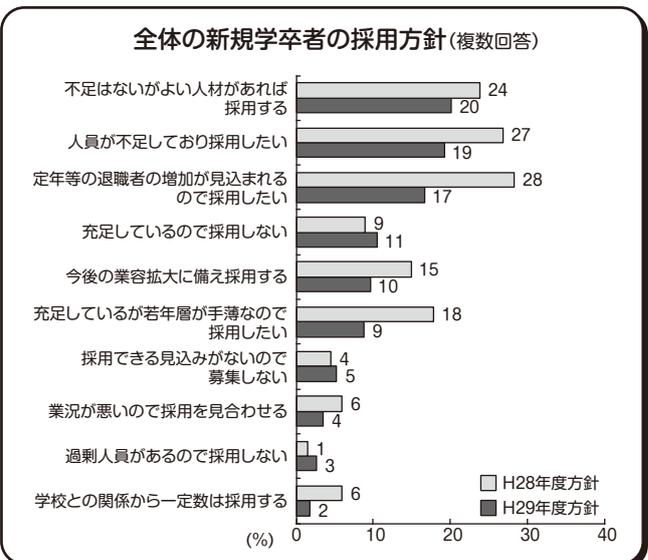
業種別でみると、製造業では、「人員が不足しており採用したい」が22%（前年調査10%）と「定年等の退職者の増加が見込まれるので、採用したい」が22%（同31%）と同率で最も多く、次いで「不足はないがよい人材があれば採用する」が17%（同29%）、「不足はないがよい人材があれば採用する」が23%（同29%）、「充足しているので採用しない」が15%（同17%）と続いた。非製造業では、「不足はないがよい人材があれば採用する」が24%（同25%）と最も多く、次いで「人員が不足しており採用したい」が16%（同29%）、「充足しているが若年層が手薄なので採用したい」が14%（同14%）と続いた。

前回と比べると、製造業では「人員が不足しており採用したい」が大きく12ポイント上昇、非製造業では「今後の業容拡大に備え採用する」が大きく5ポイント上昇しており、全体では「不足はないがよい人材があれば採用する」が首位となったが、「人員が不足しており採用したい」が2位（前回調査2位）と同順位で推移した。

〈平成29年度の新規学卒者の採用方針（複数回答）〉 (%)

項目	全体	製造業	非製造業
不足はないがよい人材があれば採用する	20 (24)	17 (29)	24 (25)
人員が不足しており採用したい	19 (27)	22 (10)	16 (29)
定年等の退職者の増加が見込まれるので採用したい	17 (28)	22 (31)	10 (25)
充足しているので採用しない	11 (9)	15 (17)	4 (7)
今後の業容拡大に備え採用する	10 (15)	8 (15)	12 (7)
充足しているが若年層が手薄なので採用したい	9 (18)	5 (10)	14 (14)
採用できる見込みがないので募集しない	5 (4)	3 (15)	8 (0)
業況が悪いので採用を見合わせる	4 (6)	3 (4)	4 (11)
過剰人員があるので採用しない	3 (1)	3 (6)	2 (0)
学校との関係から一定数は採用する	2 (6)	3 (2)	0 (0)
その他	2 (7)	0 (4)	4 (14)

( )内は前回調査の値



以上

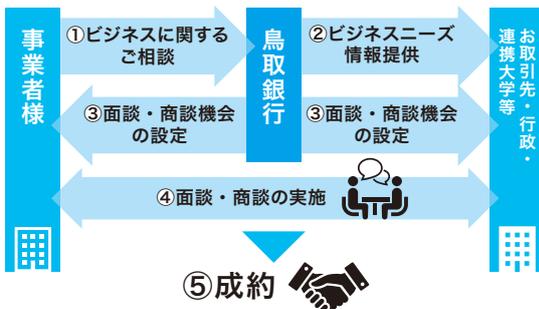
# 鳥取銀行 販路拡大支援のご紹介



鳥取銀行では、販路の拡大を希望されるお客様を支援するさまざまなメニューをご用意しております。お気軽にご相談ください。

## 01 ビジネスマッチング

お客様の販路拡大ニーズを解決できるパートナーを弊行のお取引先等から探し、ご紹介いたします。



## 02 商談会・展示会

県外への販路拡大を目的とした商談会・展示会を開催します。

開催実績

山陰海岸ジオパークフェア  
(食品個別商談会)鳥取市



地方銀行フードセレクション  
(食品展示商談会)東京都



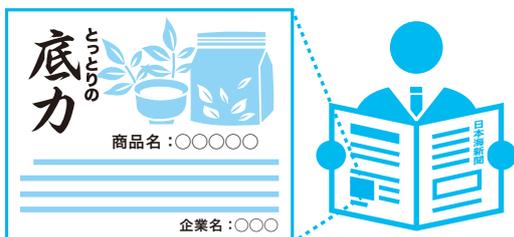
ビジネス・エンカレッジ・フェア  
(製造業者対象展示商談会)大阪府



その他多数開催

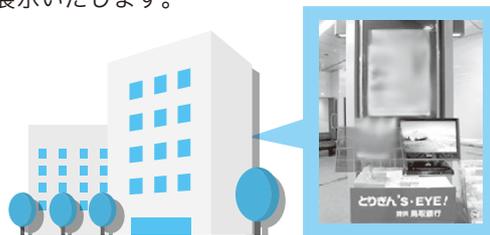
## 03 とっとりの底力

日本海新聞1面にカラー写真付きでこだわりの商品・サービスを掲載できます。



## 04 とりぎん'S・EYE!

来客が多く目につきやすい、弊行エントランスと鳥取県庁内の商工労働部長室にイチオシの商品を展示いたします。



お問合せ先

〒680-8686 鳥取市永楽温泉町171番地 鳥取銀行 ふるさと振興部 地域ビジネス推進室

TEL: 0857(37)0274 FAX: 0857(37)0222

E-mail: chiiki@tottoribank.co.jp

平成28年10月1日現在

TOTTORI BANK  青い島の銀行です。 鳥取銀行